

平成30年度 公民館等の運営・事業の自己評価の概要及び総括

佐賀市立の全32公民館で平成30年度の公民館等の運営・事業の自己評価を行いました。
その内容を取りまとめましたので、事業概要と総括をお知らせします。

1. 公民館運営審議会の開催状況

(1)	公民館運営審議会の設置数	3
(2)	委員数	各審議会8人～10人(平均9人)
(3)	会議の開催数	年1～2回

2. 施設の利用状況

(1)	管轄区域内人口(H31.3末)	1,276人～15,577人 平均7,270人
(2)	公民館の建設	松梅公民館(H30.4新規開館) 若楠公民館(H30.8移転改築し開館) 大詫間公民館(H30.11移転改築し開館)
(3)	年間利用者数	701,903人(4,576人～44,303人 平均21,934人)
(4)	図書館の蔵書数	917冊～6,400冊(年間貸出数18冊～300冊)

3. 広報活動

(1)	公民館報の発行回数	年間で3回(1館)～12回(14館) 平均9.3回
(2)	ホームページの更新回数	年間で3回～213回 平均49.5回
(3)	その他の広報活動	館内ポスター掲示、チラシ、ハガキ、テレビ、新聞等への投げ込み、地区内放送・防災無線等

4. 主催・共催事業

(1)	講座の開設数(※)	年間で11講座～35講座 平均20.5講座
(2)	講座等の開催回数	年間で19回～264回 平均86.4回

※開設数は、シリーズで複数回行う講座等を1講座としてカウントした場合の数

5. 運営評価・・・・・・・・別紙

(1)	運営の自己評価	各項目5点満点×10項目の合計50点満点中、31点～46点 平均37.6点
(2)	各項目別評価の 平均値で	最も高いもの：「施設、設備は適切に維持、管理されている」(4.1点) 最も低いもの：「地域課題の把握、解決に向けた取組を行った」(3.3点)

6. 事業評価

(1)	各事業の自己評価点数	10項目の合計40点満点中、8点～40点（平均32.5点）	
(2)	各項目別評価	自己評価が最も高いもの	対象と目的が公民館の指針に沿っている事業となっている。(97.1%)
		自己評価が最も低いもの	地域課題解決のための学習の場を提供し、住民の意識や活動の変容へとつながっている。」(31.1%)
(3)	今後の事業の方向性 (全312事業中)	① 拡充	37件 (11.9%)
		② やり方改善	112件 (35.9%)
		③ 活動量の縮小	2件 (0.6%)
		④ 終期設定	3件 (1.0%)
		⑤ 休止	7件 (2.2%)
		⑥ 廃止	18件 (5.8%)
		⑦ 現状どおり	133件 (42.6%)

公民館事業評価の視点

区分		評価項目	評価点数
目的妥当性	(1)	対象と目的が「公民館の指針」に沿った事業となっているか。	A 評価・・・4点 B 評価・・・2点 C 評価・・・1点
	(2)	将来にわたり、今後も公民館が関与すべき事業か。	
	(3)	当初の目的達成や、社会情勢の変化等により、事業の必要性が低下していないか。	
有効性	(4)	住民や社会のニーズに応える事業となっているか。	
	(5)	今年度の目標が達成できたか。	
	(6)	住民の意識や活動の変容へと繋がっているか。	
	(7)	地域の人材発掘・育成・活用、または地域の活性化に寄与する事業となっているか。	
効率性	(8)	事業の成果を低下させず、コストを削減することができるか。	
	(9)	地域団体との連携やボランティアの活用を図るなど、事業実施にかかる負担の軽減を検討しているか。	
公平性	(10)	事業の対象者に対して、参加機会の公平性、費用負担の公平性は確保されているか。	
総合評価			／40点満点
今後の方向性	①拡充 ②やり方改善 ③活動量の縮小 ④終期設定 ⑤休止 ⑥廃止 ⑦現状どおり		